



# 路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町 2-13 (深津ビル)  
〒101 Tel (03) 3861-3656

## 目 次

業況調査からふと思う	専務理事 今村 晴知	1
米国交通環境・塗料展調査研修旅行見聞記	森 昌之	4
平成 5 年の道路交通事故死者数		17
小原陽二氏の死去を惜しむ	事務局	18
事務局便り	余滴	19 20



## 業況調査からふと思う

専務理事 今村 晴知

早や94年も3月に入り、官公、民間を問わず、いわゆる年度末とやらの締めくくりに精力的な活動が続けられている。一方、国会では今、何年もかかってともかくも決着をみた政治改革法案の成立に続いて、平成6年度予算の審議入りをめざしての与野党駆け引きがあるが、平成5年度第3次補正予算を含めてのいわゆ

る“15ヵ月予算”の運用が早く行われる事態を待ち望む時限になっている。このところ長く続いている我が国の不況の波に、各企業も自由業の人達もそして庶民も、景気のもち直しを早く期待している。

日本銀行が3月1日発表した2月の企業短期経済観測調査（日銀短観）によれば、主要企業の業績判断を示す業況判断指数（D I）が製造業でマイナス56と、前回11月調査と同じ水準で下げ止まった。

	製造業	非製造業
景気判断が「良い」	3%	3%
“ 「悪い」	59%	49%
差引き = (D I)	(-) 56	(-) 46

一方、94年度の売り上げ計画は、93年度の売り上げとの対比で、製造業が0.4%増、非製造業が1.1%増と、3年ぶりにプラスに転ずる予想を示したが、伸び率は甚だ小幅である。それでも、経常利益の計画は製造業で対前年比11.4%増と予想するなど、緩やかな景気回復を展望する位置に一步近づいたようである。

このようなことは、通産省がまとめた2月時点の産業動向調査でもうかがわれる。調査は鉄鋼、電機、自動車、百貨店などの大手企業162社を対象に実施したもので概要次のように報じられている。

	93年11月	94年2月
現在の業況が「悪い」	29%	21%
“ 「良い」	3%	4%
半年後の業況は「良くなる」	12%	19%
“ 「悪くなる」	30%	17%
生産動向は前回調査より「増えた」	8%	14%
“ 「減った」	29%	25%
現在の在庫水準は「過剰」	43%	38%

平成6年4月1日より  
アトム化学塗料株式会社は、

ATOMIX

**アトミクス株式会社**

に社名変更しました。アトムのブランドは従来通りです。

アトミクス株式会社 本社 〒174 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111(大代表) FAX.03-3969-7300

このように見てくれば、ともかくも、この長い不況も漸く今年中には何とか抜け出せるのではないかと期待できそうである。然しながらそれは、今必死に施策・対策に追われている企業やその所属員が、少しの緩みもなく活動することが必要条件としてのことであろう。とすれば、そこには近時話題にのぼる雇用関係の厳しさと賃金問題のむずかしさが、デンと横たわっているのは避けられない。

経営の企画基本には、毎年度決算期ごとの諸々の計数が第一の出発点にもなり、又、営業関連では売り上げ高と粗利益高が何といても物差しの第一となる。従って、ちょうど今の3月は正に全精力を投入しての追込みとなり、少々の健康状態や個人問題などはいつの間にか追いやられて終うようだ。公共関連の事業執行・発注も同様に集中的にならざるを得ないし、またそれも期間・期限というもので締め扱いをする限り理解もできる。これが、我が国ののどかなる春を忙しい時期にしている大もとではなからうか。そして、悪くいえばゆとりのない人間国家 — 日本 — を形づくってしまうことの一因ではなからうか。

こんなことまで考えたとき、ふと無責任なことが頭に浮かんだ。企業も官公も、1年間の決算や締めくくりを1月から12月の暦どおりにした方が素直な姿になるのではないかと。

国際関係の数字、特に統計要素は1月～12月を以てするのが適当である。それに日本では正月前後は国家的一大連休となる。否応なしに事業活動は停止状態。されば、企業など年度期末の追込み無理は物理的に大分減るし業績経理も実態に一步近づくだらうし、官公も年度執行の区切りにはっきりさせやすくはなからうか。そして又、経営の立場では、寒い冬の1月に年間実行計画を十分に再確認して全員がフル活動開始、前年度以上の成果をめざす。 — いかがなものだろう？

このほかにも言い出せば色々あるが、まさか今こゝで本気でもの申す気持ちもないし、超々困難なことなので誌面の関係上こゝでおしまいとしたい。

## 高性能溶着式路面標示用塗料

# ニッポリライオン



### 日本ポリエステル株式会社

本社 ☎530 大阪市北区芝田2-8-33(八谷ビル) ☎(06)372-7011(代)  
東京営業所 ☎105 東京都港区新橋3-11-8(第3兼坂ビル) ☎(03)3435-8760  
営業所 名古屋・広島・福岡・高松・仙台

# 米国交通環境・塗料展調査研修 旅行見聞記

森 昌 之

昨年秋、路面標示材協会の20周年行事の一環として企画された米国交通環境・ペイントショー調査研修に参加する機会に恵まれ、米国のアトランタ、ニューオリンズ、ワシントン、ニューヨークの4都市を訪れた。


以下は、その時の技術的及び詳細情報の内容は別にしての、旅行記である。

## 1. 米国への期待を胸に

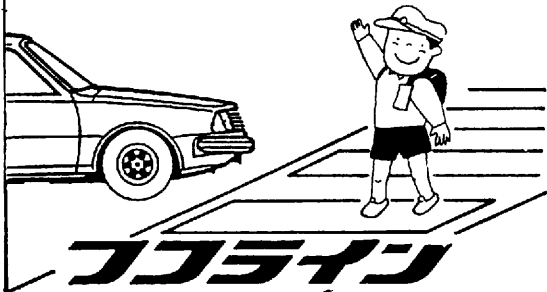
今回の調査研修は、公式訪問先3機関、各州の交通安全施設調査、それに米国ペイントショー視察と、盛り沢山なスケジュールの10日間である。そしてそれは、米国各州の情報収集、実情の把握などを行うと共に、米国開拓時代の状況、広大なアメリカ大陸のスケールの大きさを実感しながら参加者全員の協力のもと、精力的な活動に終始して大変有益な調査研修旅行となった。

日本では山の紅葉が見ごろとなった秋たけなわの10月27日水曜日の午後3時30分に、新装となった成田空港に集合した一行は、VIPルームにて結団式を行ない、協会会長の眞壁昶氏を団長に、理事、委員、賛助会員と

各種塗料製造販売  
道路標示材製造及施工



## 富国合成塗料株式会社



本社 〒652 神戸市兵庫区永沢町3丁目7-19  
TEL (078)575-6600 (代)

工場 〒673 神戸市西区栢谷町長谷佃井南 145  
TEL (078)991-0158

(支店)大阪 (営業所)東京・名古屋・豊橋・姫路

旅行社添乗員の総勢16名が期間中の安全と研修の成功を誓い合った。

午後5時30分、すっかりうす暗くなった成田空港を飛び立ち一路米国へ向った。まず米国西海岸のポートランドで国内線への乗り換えとなり、ここで米国への入国審査となった。約2時間後、再び飛行機で第一訪問地のアトランタへと向かった。乗り換えを入れて15時間の移動は、時差ぼけと合わせて少々体にこたえた。アトランタに着いたのは現地時間の夕方5時。空港からは専用バスにて市内ホテルへ直行、近くの趣きあるレストランで全員夕食後は翌日からのスケジュールに備え、それぞれベッドの人となっていた。

## 2. 車検のない米国でのミステリーツアー

一夜明けた米国での朝は明けるのが大変遅かった。10月30日までは夏時間であるため、7時30分ごろまではまだ暗く、8時ごろになってようやく明るくなってきた。(10月31日からは時計を1時間遅らせて正規時間となる)

最初の公式視察となったペイントショーの会場は、ホテルから歩いて20分程度で行けるほぼ市内の中心部に位置しており、会場としては地の利の良い場所である。ペイントショー会場は、ジョージア世界会議センター内のホールに設営され、約300社の展示品で飾られ、塗料設備機械、塗料、化学品等の各ブースを皆熱心に見て廻った。

**交通安全**

**に貢献する**

**エースライン®** 反射材配合の  
溶融施工タイプ  
(JIS K5665適合品)

**ユニライン®** 常温施工・加熱  
施工タイプ  
(JIS K5665適合品)

**日立路面標示・区画線用塗料**

日立化成工材株式会社 (営業本部) 東京都足立区足立2-40-16 ☎120 ☎東京(03)3840-4777(代)

ペイントショー視察後、各自思い思いに市内の交通環境やロードマーキングの状況など、アトランタ市内の中心や周辺を見て廻った。市内でも横断歩道でゼブラ標示をしている所、側線のみ標示をしている所等まちまちであるのが印象的であった。

夜は市の北部郊外のレストランへ食事を兼ねたミステリーツアーへ全員参加した。ホテルからバスに乗ってフリーウェイを一路郊外へ向かった一行は、目的地数km手前で突然のトラブル発生？ なんとフリーウェイで乗っていたバスが止まってしまったのである。エンジンが全くかからなくなり、原因が分からないという。仕方がないので代わりにバスが来るまで小1時間フリーウェイ上で全員が待たされるハプニングとなってしまった。然しこれも車検制度のないアメリカならではの状況かと思った。

### 3. スケールの大きさに感動

翌日は、最初の公式訪問先であるジョージア州交通局 (State of Georgia, Department of Transportation) を訪問した。交通局側では R. collins氏ほか計5名の代表者が我々一行を温かく出迎えてくれた。

午前9時から3時間、ジョージア州におけるロードマーキングの状況、使用材料の説明、機械設備の見学、質疑応答等、大変貴重な時間を過ごすことができた。

ジョージア州交通局には約6200名の職員がおり、そのうち路面標示関係

路面標示用塗料

# アズマライン

 **アズマ** 株式会社

本社・工場 静岡県静岡市下川原3555番地

☎ 054-258-5561

営業所 東京・大阪・静岡・北陸・東北・北海道・九州

には 151人がおって、ロードマーキングの維持メンテナンスは交通局の職員が行なっているとのことで、日本の業者委託との違いを感じた。ロードマーキングの主体は、ペイントのスプレータイプが主流で、ジョージア州全体で年間 100万ガロン使用するとのこと。溶融タイプは年間3000 t 程度、その他では貼付式のものもあり日本で使用しているものと大差はないようである。ただ、環境問題についての規制上、水性ペイントタイプへの移行をはかっている。また、施工機械の見学では、大型トラックに搭載された 4 基の釜の大きさに圧倒された。途中コーヒータ임을挟んだ後、質疑応答では、夜間の視認性、雨天夜間の対策等についても質問が出たが、日本で行なわれている状況と大差なく我々が期待したほどの有意義な情報は得られなかった。何はともあれ、交通局の誠意に満ちた応接に対して、団長から感謝の意を述べて最初の訪問を無事に終了した。

午後は道路環境視察を兼ね、アトランタ郊外東部のストーンマウンテンへとフリーウェイを飛ばした。片側 5 車線のフリーウェイは、車社会の発展した米国のスケールの大きさを感じ、ストーンマウンテンでは、ばかどかい自然岩の壁面に、南北戦争の時のリー将軍などを彫刻した像の大きさにまたまた感動させられた。

#### 4. 米国も異常気象か

アトランタでの全工程を終了した我々は、上記のストーンマウンテン経



## 神東塗料株式会社

スーパーミライナー

(雨天夜間高視認性標示材)

シントーライナー (溶融型)

シントーライナー (常温型, 加熱型)

S P ロード (すべり止め塗料)

本 社 〒661 尼崎市南塚口町 6-10-73 (TEL (06)429-6261)

東京本社 〒103 中央区八重洲 1-7-20 (八重洲口会館) (TEL (03)3281-3301)

由のまゝバスでアトランタ空港へ行き、次の移動先ニューオリンズへと向かった。日程的に土曜、日曜となるため、ニューオリンズでは公式訪問先はなく、主に自由行動による市内交通環境視察となった。

ニューオリンズはアメリカ南部のメキシコ湾に面していることから暖かいことをイメージしていたが、10月末というのに早くも寒波襲来で、30日朝の気温は10時でも2℃、風も非常に強く東京の真冬並みの感じであった。つい2日前までは25℃もあったと聞いて、米国でも（大陸なので当り前でもあろうが）世界的な異常気象に見まわられているということを実感させられた。ニューオリンズはミシシッピー川に面したジャズの町、そしてフランスの名残りを何か感じさせる町で、土、日の休日を調査の仕事も兼ねて各自が昼、夜それらしく過ごしたわけである。

10月31日の午後、我々一行は次の訪問先であるワシントンへと飛行機にて移動した。直行便ではなかったので広大なアメリカ大陸ワシントンへ着いたのはすでに夜の8時30分を過ぎていた。

## 5. アメリカの歴史を実感

11月1日ワシントンにて2番目の公式訪問先であるARTBA (American Road & Transportation Builders Association) を訪れた。ARTBAは全米の交通施設関係の協会で企業、官公、個人、学校等を含め約4000のメンバーが加入しており、土木建設、鉄道、海上交通関係について国会、連邦政府とのつながりも持ち、連邦への働きかけ、メンバーの

高輝度道路標示材	ロックビーズライン
同	グロライン
夜間・雨天反射体	スターレックス

## ラインファルト® 大崎工業株式会社

本社 〒593 堺市上89番地  
TEL 0722-72-1453 (代)

営業所 〒144 東京都大田区本羽田3丁目24番9号  
TEL 03-3743-3004 (代)



情報交換、ニューズレター等の発行などの活動を行なっている。P. Ruane氏ほか約10名ものお歴々（殆んど企業の社長、副社長）に迎えて貰い、いささか恐縮もしたが、意見交換、質疑応答では、米国でのロードマーキングの現状、今後の問題点などのほか、日本の状況についても活発な意見交換をするとともに、協会相互の親睦をはかることができ、最後に団長より感謝の意を述べて終了した。意見交換の中で、先方は日本の溶融型塗料の品質の良さ、施工技術の良さに感心しているとの言葉があった。

午後はワシントン市内の交通環境を視察。途中、アーリントン墓地でのケネディ大統領の墓、リンカーン記念堂、航空宇宙博物館も訪ねることができ、米国の歴史に深く感銘を覚えた。

## 6. 突然の火災訓練に遭遇

1日だけというあわただしい日程を過ごしたワシントンに別れを告げ、11月1日の夜、最後の訪問地ニューヨークへ入った。

世界経済の中心地ニューヨーク上空から見たマンハッタンの夜景は、何とも言えず美しいものであった。翌日は団員みな長旅の疲れもみせず、市内交通環境調査をかね、バスにてマンハッタン島を一周した。摩天楼の立ち並ぶロックフェラーセンター、世界経済の発進地ウォール街、ブルックリン橋、国連本部と精力的に廻り、ハーレム街へも足を延ばした。

11月3日は、公式訪問先としては最後となるニューヨーク州交通局

自社のブランド

# ボンライン

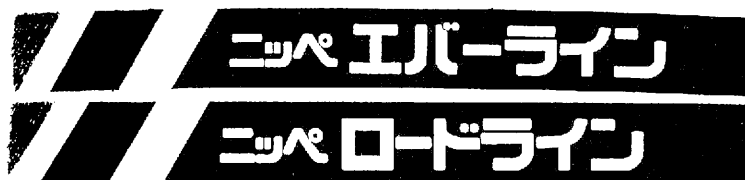
SK 信号器材株式会社  
〒211 神奈川県川崎市中原区市ノ坪160 ☎044(411)2191

(State of New York, Department of Transportation) のNY支局を訪問した。温かい歓迎の挨拶の後 C. K. Stone氏ほか5名の交通局関係者とのミーティングが始まった。

交通局では道路工事関係すべてを行っており橋梁塗装から道路清掃までをも取りしきっている。マンハッタンでは、東京と同じように交通量が多く工事条件が悪くて問題も多いと大都会の悩みをもらしていた。ニューヨーク州でもロードマーキングの95%はペイントタイプの塗料を使用しており、残り5%は溶融タイプでこれは主に市内が中心であり、郊外は積雪の関係でペイントタイプで引かれているとの説明があった。又、ビーズ含有量も30~40%のものを6~7年前から採用しており、夜間視認性への配慮がうかがわれた。質疑応答では、塗料の種類、塗り替え時期の基準反射輝度の測定等、常日ごろ我々が関心を持っている点に質問が集中し、活発な意見交換の場を持つことができた。

ミーティング終了直前、突然、火災報知機が鳴り出し、団員一同、一瞬何が起きたのかわからず、指示されるまま階段を使って屋外へ出ることとなった。後でわかった事だが、これは定期的に行なわれる避難訓練ということで、実際の火災ではなく一同ほっとした次第であった。米国まで来て火災訓練に遭うとは思わず、一同、異国の地での思わぬ体験にいい記念になったと話していた。再度ミーティングルームに戻った我々は、団長より感謝の意を述べ最終訪問も無事終了することができた。

「安全・円滑・快適」な道づくりを目指して



 **日本ライナー株式会社**

〒101 東京都千代田区神田錦町 2-11  
PHONE: 03-3233-1051 FAX: 03-3233-1053

## 7. 路材協会設立20周年記念での再会

11月4日、米国調査研修の全日程を無事終了した我々は、ケネディ国際空港を出発し、一路日本へと帰国の途についた。

今回の海外研修旅行では、企画段階から旅行終了に至るまで協会本部の今村専務理事、旅行社添乗の西川氏には大変お世話になりました。米国の各関係機関に対する公式訪問のアプローチ、各種文献資料の入手等、多大なお骨折りにより、充実した研修をすることができたことを、心より感謝いたします。

平成元年の欧州への視察研修に続いての今回の米国研修は、当協会における国際交流が増々発展することと思います。前回の欧州視察と合わせ、先進諸国の交通環境を知るうえで大変貴重な体験ができ、我々にとって有意義な調査研修になったと思っている。

調査研修から帰って間もない11月25日に、都内で路面標示材協会の設立20周年式典が行なわれた。今回の調査に参加した団員もほとんどが出席され、無事に楽しく行ってこられたことに感謝しながら思い出話に花が咲いていた。20周年行事終了後、参加者は別室に集合し、各自思い思いに撮影したスナップ写真を交換し合い、思い出を新たに語らいをしてひと時を過ごすことができた。

最後に、米国の公式訪問先各関係各位より受けた温かく誠意に満ちた応接に深く感謝するとともに、団員の皆様にも調査研修中いろいろ御配慮いただき、和気あいあいのうちに楽しく過ごさせてもらい心より感謝いたします。今後も皆様の御活躍をお祈りし筆をおく次第です。

(株)キクテック 関東工場長・路材協技術委員長



キクテックは全国ネットのサービス網を通じ、美しく統一のとれた、安全な道路づくりに貢献するために、より豊かな公共環境を表現する企業として、21世紀への飛躍をめざします。

公共環境を表現する  
株式会社 **キクテック**

本 社 〒457 名古屋市南区加福本通1-26  
TEL 052-611-0680(代) FAX 613-3934

路面標示用塗料 **キクテック** (溶融用)・**キクテック** ペイント(常温用・加熱用)



写真-1 調査団一行（ペイントショー会場入口にて）

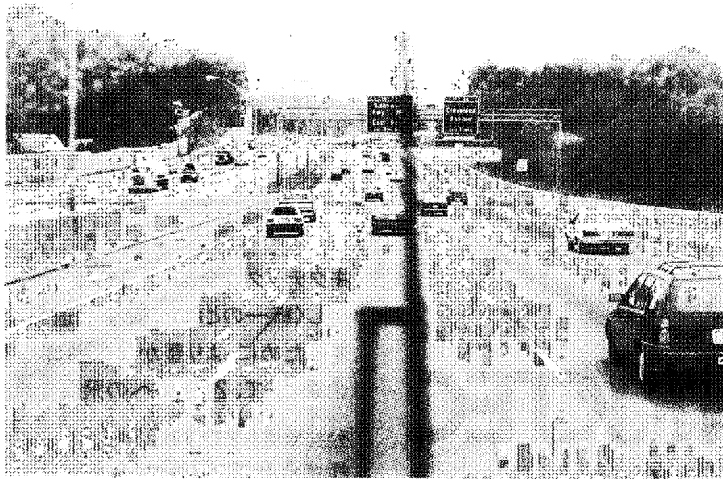


写真-2 フリーウェイ（アトランタ郊外）

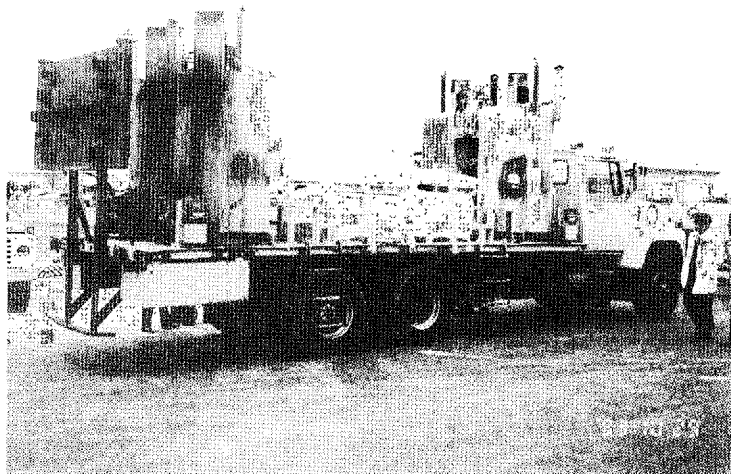


写真-3  
大型釜を搭載の車  
前後に4基の釜を搭載  
(ジョージア州交通局にて)

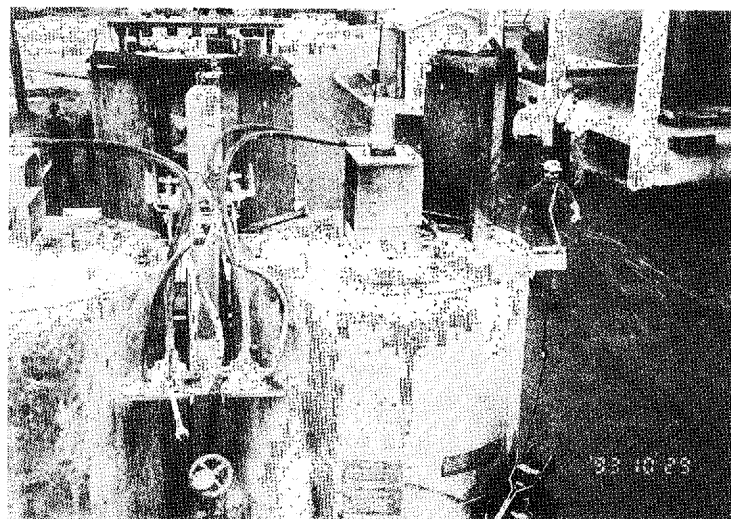


写真-4  
釜の上部  
(同上)

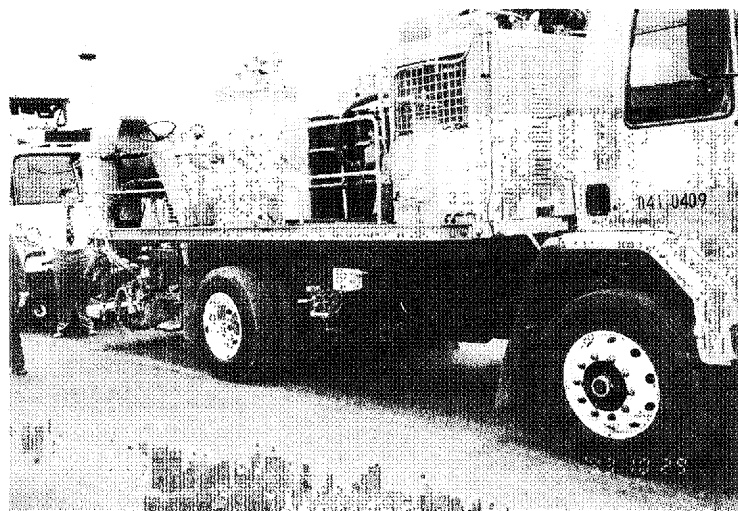
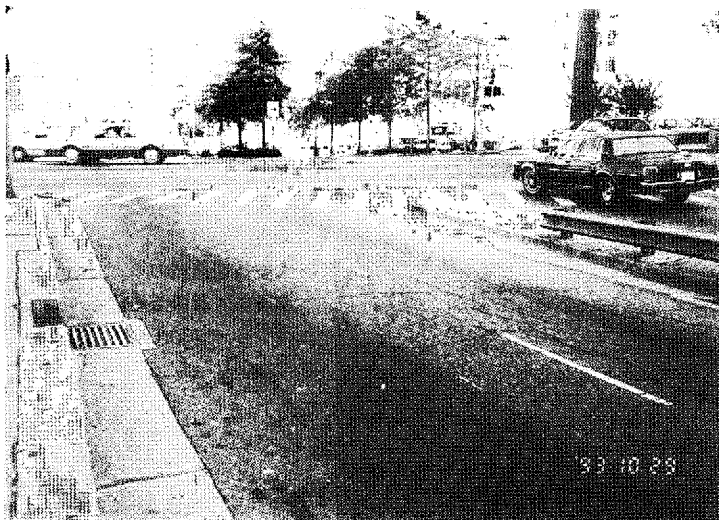


写真-5  
大型ペイントマーカー車  
(同上)



横断歩道のいろいろ

写真-6

①ゼブラのみの横断歩道  
(アトランタ市内)

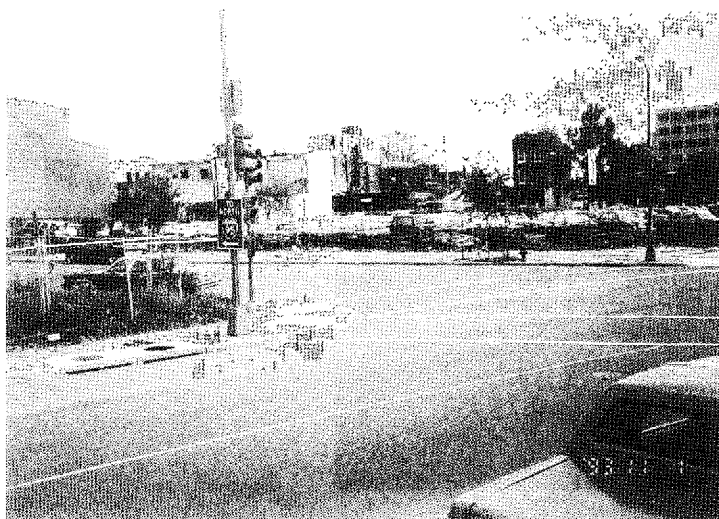


写真-7

②側線のみの横断歩道  
(ワシントン市内)

化学は人間化への学び。

信頼の  
ディックライン

<道路標示線>

化成系事業部

■事業部  
 インキ事業部  
 機械事業部  
 化成系事業部  
 プラスチック事業部  
 樹脂事業部  
 建材事業部  
 生物化学事業部  
 石油化学事業部  
 海外事業部

大日本インキ化学

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-7-20  
TEL (03)3272-4511

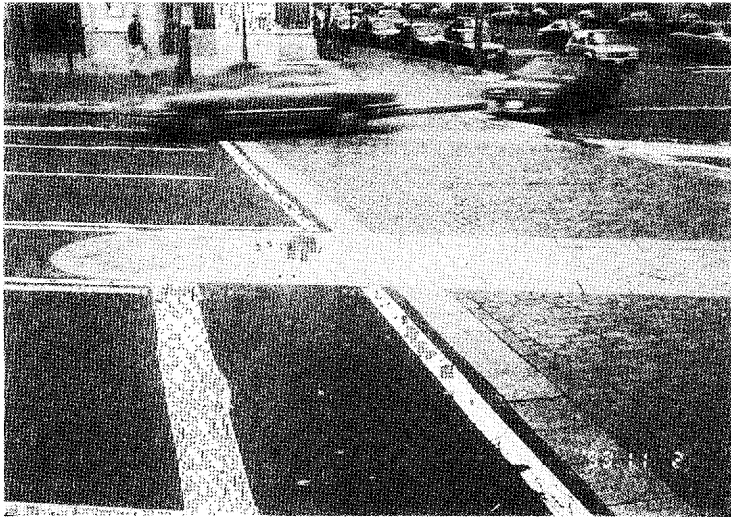


写真-8

③レンガ量の横断歩道  
(ニューヨーク市内)



写真-9

④側線のある横断歩道  
(ニューヨーク市内)

# サンライン®

## 湘南化成株式会社

〒105 東京都港区芝2丁目18番4号  
TEL 03 (3451) 8046

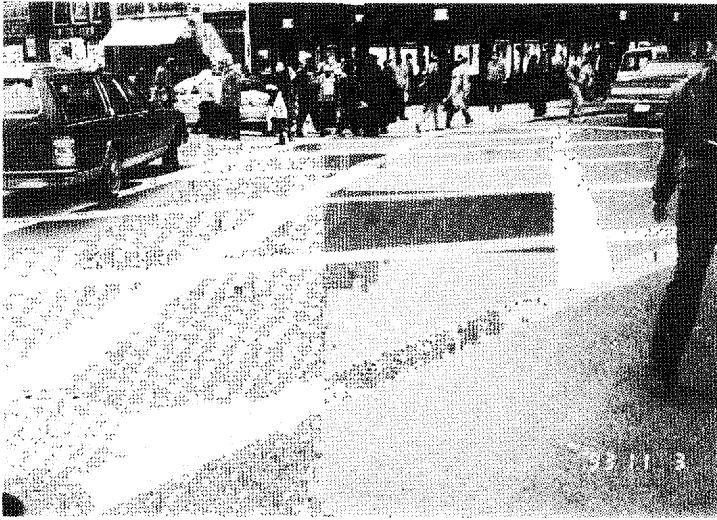


写真-10  
 ⑤スクランブル交差点標示  
 (ニューヨーク市内)

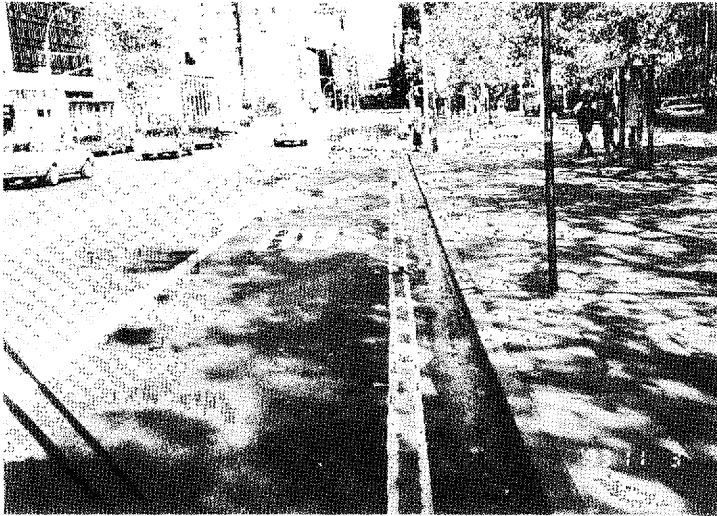


写真-11  
 バスレーン  
 (ニューヨーク市内)

路面標示用塗料

**トアライナー**



**株式会社 トウペ**  
 TOHPE CORPORATION

本社/大阪市北区堂島浜2丁目1番29号(古河ビル)  
 ☎06(344)1371(大代) 〒530  
 支店/東京都中央区日本橋室町2丁目3番14号(古河ビル)  
 ☎03(3279)6461(大代) 〒103



# 平成5年の道路交通事故の死者数

道路交通事故による1年間の死者数は、毎年1月早々に警察庁がまとめ、お正月ごろの報道で速報されるのであるが、それによると既にご承知のように、昨年（平成5年）の年間死者数は10,942人であった。これは、1万人を超えているという点では1988年以降6年連続ということになるが、89年以来続いていた1万1千人台は僅かながらも切ることができた。同時に74年（昭和49年）以降で死者が最も多い92年よりも509人少ないことになる。

都道府県別の死者数は表のとおりであって、多かったのは北海道の595人を筆頭に、千葉県と愛知県の共に553人が続き、以下神奈川県494人、埼玉県の488人、大阪府の481人などがある。一概にはいえないが、総じて人口の多い自治体県や車両通過の多い県にワースト上位が該当するのは避けられない。従って、今回死者100人以下というのは山陰2県、四国2県、九州4県それに山梨県であった。（因みに、山梨県は今回の年間減少率が約4割と、圧倒的な数字で100人以下となった。）

なお、これまでの数年間にくらべ、前年からの増加は今回1道13県しかなく、全体的に前年より減少となっているのは大変好ましい状況ともいえる。（減少率10%以上は1都、1府、11県とかなり多い）

93年の都道府県別の 交通事故死者数 (カッコ内は前年比)		
北海道	595	(10)
青森	147	(-5)
岩手	149	(-1)
宮城	178	(-8)
秋田	119	(2)
山形	124	(13)
福島	209	(6)
東京都	448	(-61)
茨城	494	(13)
栃木	285	(-22)
群馬	245	(11)
埼玉	488	(-6)
千葉	553	(9)
神奈川	538	(31)
新潟	316	(2)
山梨	96	(-57)
長野	209	(-45)
静岡	343	(-59)
富山	117	(-11)
石川	114	(-2)
福井	114	(-16)
岐阜	236	(-27)
愛知	553	(-20)
三重	230	(-42)
滋賀	175	(-15)
京都	216	(-43)
大阪	481	(-46)
兵庫	452	(-21)
奈良	123	(-9)
和歌山	132	(8)
鳥取	69	(-1)
島根	72	(-11)
岡山	226	(-30)
広島	295	(39)
山口	184	(-23)
徳島	88	(-1)
香川	147	(17)
愛媛	147	(-6)
高知	93	(-14)
福岡	356	(-34)
佐賀	90	(-7)
長崎	92	(-5)
熊本	144	(-23)
大分	96	(-7)
宮崎	95	(-8)
鹿児島	154	(10)
沖縄	115	(6)
計	10942	(-509)

# 小原陽二氏の死去を惜しむ

事務局

協会、前専務理事の小原陽二氏は、昨年9月末から健康を害して入院中であったが、今年1月1日に呼吸不全のため小平市の病院で亡くなられた（75才）。葬儀には、会長、専務理事ほか参列しましたが、こゝに謹んでそのご冥福をお祈りします。

小原さんは、前号会報（協会設立20周年記念号）である方たちの回顧録にも出ているように、協会初期の頃、諸々の協会活動基盤を構築するのに努力されたもので、約14年間に亘る生前のご尽力に改めて敬意と感謝を捧げるものであります。

思えば、この「路材協会報」には、その創刊時点から自在な執筆で、適宜、巻頭文のほかにも記事雑記を以て発行に努められ、平成年度に入っては、協会客員の形で殆ど毎号、「時事政・経メモ」を書いていただいた。往年の新聞記者や証券会社での市場調査の担当役員、さらには大学の経済学講師などがなせる業であろう。これからは、あの小原論調を紙面に見ることができないのは残念です。

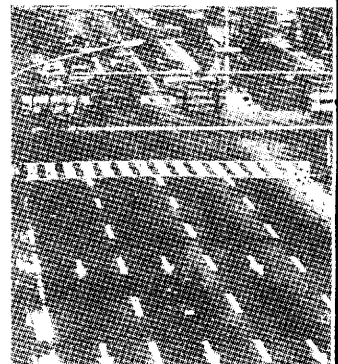
なお、小原さんは70才を過ぎてから気まゝな随筆を思い立って始めておられたが、偶然、死去直前に印刷手配までの段階が完了し、今年2月付けで「昭和ラブソディ」なる題名で文庫版式の本が出来上がった（近代文藝社発行、1300円）。本そのものを直接手にすることはできなかったが、ご本人は完成をご承知のことゆえ存分なものであったと思う。

（今村記）

## 総合力でニーズにお応えする セキスイ道路標示材

- 溶融タイプのジスライン
- 感圧貼付シートのジスラインDX
- 加熱融着シートのジスラインS

道路標示材の専門メーカーとして  
セキスイは豊富な経験と技術で  
優れた製品を創り、交通安全に寄与しています。  
耐久性・耐摩耗性・鮮明さは高い評価をいただいています。



交通安全・環境保全に貢献する  
積水樹脂株式会社

本社

〒530 大阪市北区西天満二丁目4番4号

(堂島関電ビル6階) TEL.06(365)3245

ジスライン

事務局便り

年末からの会議状況は次のとおり。

○理事会

平成6年1月21日

15時～17時

- 1) 経過報告
- 2) 20周年行事結果の件
- 3) 生産統計の件
- 4) 需要調査報告の件

平成6年3月4日

13時半～16時

- 1) 経過報告
- 2) 関連規制・試験法の件
- 3) 役員の選出方法の件

○業務委員会

平成6年1月27日

15時～17時

- 1) 経過報告
- 2) 生産統計の件
- 3) 需要調査報告の件

平成6年3月11日

13時半～15時半

- 1) 経過報告
- 2) 月次生産の件
- 3) 関連規制の件

○技術委員会

平成5年12月8日

15時～17時

- 1) 経過報告
- 2) 米国調査の概要
- 3) 黄色色差測定の件

平成6年2月9日

13時半～16時

- 1) 経過報告
- 2) 需要調査の件
- 3) 色差測定方法の件

路面標示用塗料3種[レンマーク]製造

**レンマーク工業株式会社**

83年度中国通産局長表彰受賞  
日本工業規格表示許可工場

〒731-11 広島市安佐北区安佐町飯室字森城6864018

TEL (082) 835-2511 (代)

## 事務局便り（続き）

1. 会員会社の日本ポリエステル㈱の理事、業務委員が1月から変更となりました。  
（理 事） 梶川郁夫氏から常務取締役の山崎彦四郎氏へ  
（業務委員会） 蜂谷茂氏から東京道路営業課長の阿部敏雄氏へ
2. 既に昨年10月以降、正会員になっている日本ライナー㈱の協会担当者名を改めて記します。  
（理 事） 専務取締役 石井 甫氏  
（理 事 代 理） P M技術部長 竹島英雄氏  
（業 務 委 員） 関東事業部副事業部長 山寺純一氏  
（技 術 委 員） P M技術部係長 相川浩三氏
3. 会員会社のアトム化学塗料㈱は、4月1日から社名を「アトムクス株式会社」と変更されます。
4. 賛助会員関係の変更事項
  - ① 昨年12月下旬に、日本製袋工業㈱の当協会関係責任者は、赤羽稔氏から常務取締役の工藤多喜二氏に変わりました。
  - ② 菊池色素工業㈱は、1月1日から「キクチカラー株式会社」に社名が変わりました。
  - ③ 日本ガラスビーズ協会は、3月7日から事務局所在地が次のように変更となりました。  
〒153 東京都目黒区目黒3-9-1 目黒須田ビル 東芝パロティーニ㈱内  
T E Lは 03-3794-7131  
F A Xは 03-3794-7814
  - ④ トーネックス㈱は、3月28日役員変更に伴ない、会社代表者は取締役社長の都築保彦氏、協会関係責任者の枋内千秋氏は取締役開発部長に、それぞれ名簿欄変更となります。
5. 業務委員会まとめの需要調査によれば、路面標示材の数量は前年比数%減少の様に推定され、現在の生産減が続く状況もうなずける様である。
6. 塗料・塗装業界で、日本で初めてのペイントショーが千葉県幕張の日本コンベンションセンターで開催されます。期間は4月14日（木）～16日（土）。

## 余 滴

昨年の協会設立20周年行事の関係でその特集号を編集したため、この会報の発行も1月に出すことはできませんでした。今回は、昨年秋実施した米国調査研修時の模様を“旅行見聞記”の形で森氏に代表して書いて頂き、それを目玉とした発行です。

会報の中に記しましたように、協会客員の小原陽二氏が死去され、“時事政・経メモ”の連載はなくなりましたので、今後の編集発行にも一つの工夫をしていきたいと思えます。会員の方々をはじめとしてよろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。